

## 平成31年度 オリンピック・パラリンピック準備局予算案(概要)

## I 事業体系と予算額

(単位：千円)

事業名	平成31年度 予算額	平成30年度 予算額	増(△)減
①スポーツ振興管理費	836,000	906,000	△ 70,000
②オリンピック・パラリンピック準備費 (Ⅱ-1参照)	301,523,000	116,056,000	185,467,000
③スポーツ推進費	45,879,000	22,468,000	23,411,000
管理費	1,395,563	1,205,104	190,459
スポーツ振興施策の企画調整	5,472,717	4,088,079	1,384,638
企画調整・体育施設等の企画調整	1,709,327	1,748,629	△ 39,302
大学・企業等所有スポーツ施設の活用 (Ⅱ-2参照)	1,390	1,950	△ 560
スポーツ施設整備費補助 (Ⅱ-3参照)	3,762,000	2,337,500	1,424,500
体育施設等の整備 (Ⅱ-4参照)	24,371,435	6,021,034	18,350,401
公益財団法人東京都スポーツ文化事業団助成	65,740	66,327	△ 587
東京都スポーツ文化事業団運営費補助	48,869	49,456	△ 587
広域スポーツセンター事業費補助	16,871	16,871	0
スポーツの振興	620,715	515,782	104,933
生涯スポーツの振興・地域スポーツの振興 (Ⅱ-5参照)	263,339	271,621	△ 8,282
スポーツムーブメントの創出 (Ⅱ-6参照)	357,376	244,161	113,215
ラグビーワールドカップ2019開催準備 (Ⅱ-7参照)	3,749,230	882,037	2,867,193
体育施設等の運営 (Ⅱ-8参照)	4,511,124	3,486,183	1,024,941
総合的な競技力向上施策の推進 (Ⅱ-9参照)	1,311,194	1,307,357	3,837
競技スポーツの振興	999,176	995,339	3,837
スポーツ国際交流事業	312,018	312,018	0
マラソン祭りの開催 (Ⅱ-10参照)	309,525	309,525	0
障害者スポーツの振興 (Ⅱ-11参照)	4,071,757	4,586,572	△ 514,815
オリンピック・パラリンピック準備局計(①+②+③)	348,238,000	139,430,000	208,808,000

[ 149.8%増]

## II 主要事業

- 1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催準備 3,015億 2,300万円** (拡充)
  - 東京2020オリンピック・パラリンピック競技施設等の整備
  - 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催準備
  - 大会開催に向けた普及啓発
  - 共同実施事業等
  - 新国立競技場整備事業負担金
  
- 2 大学・企業等所有スポーツ施設の活用 139万円**
  - 大学・企業等が所有するスポーツ施設を活用し、都民のスポーツの場を拡大
  
- 3 スポーツ施設整備費補助 37億6,200万円** (拡充)
  - 都民のスポーツ環境の充実・拡大及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ラグビーワールドカップ2019の成功のため、区市町村が行う施設整備の取組を支援
  - 1964年大会会場を東京2020大会会場として再整備し、大会のレガシーとしてスポーツ振興に資する施設整備の取組を支援
  
- 4 体育施設等の整備 243億 7,144万円** (拡充)
  - 有明コロシアム改修工事のほか、東京スタジアムなど既存体育施設等の改修・整備工事を実施
  
- 5 生涯スポーツの振興・地域スポーツの振興 2億 6,334万円**
  - 多くの都民が参加できる各種大会の開催、高齢者の健康維持・増進を図るシニアスポーツ振興事業、地域スポーツクラブの支援等を実施
  - 区市町村等が、子育て中の親子を対象としたスポーツ・レクリエーションの教室等を実施するにあたり、(一社)東京都レクリエーション協会と連携し、講師の派遣や教室運営のノウハウ提供等について支援を実施
  
- 6 スポーツムーブメントの創出 3億 5,738万円** (拡充)
  - スポーツイベントの開催、国際大会の支援等を実施し、スポーツ気運を醸成するとともに、スポーツ都市東京を世界にアピール
  
- 7 ラグビーワールドカップ2019開催準備 37億 4,923万円** (拡充)
  - ラグビーワールドカップ2019の開催都市として、開催気運の醸成に向けた取組を推進するとともに、大会成功に向けた準備、運営を着実に実施  
交通輸送実施運営、セキュリティ・医療等実施運営、仮施設・設備の整備、東京スタジアムフィールド芝整備、ファンゾーン及び都市装飾の実施運営、気運醸成に係る広報 など
  
- 8 体育施設等の運営 45億 1,113万円** (拡充)
  - 東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館、東京辰巳国際水泳場、有明テニスの森公園テニス施設、若洲海浜公園ヨット訓練所、武蔵野の森総合スポーツプラザ、障害者総合スポーツセンター、多摩障害者スポーツセンターの運営
  
- 9 総合的な競技力向上施策の推進 13億 1,120万円** (拡充)
  - 東京2020大会に向け、有望な選手を「東京アスリート認定選手」として認定し、海外遠征等への支援、医・科学サポートなどを実施するほか、アスリートの発掘・育成・強化、指導者の育成、スポーツ・インテグリティの推進を実施
  
- 10 マラソン祭りの開催 3億 953万円**
  - ランナー・応援者・ボランティアなど全ての参加者が一体となるスポーツイベントとして、東京マラソン、マラソン祭りを開催
  
- 11 障害者スポーツの振興 40億 7,176万円**
  - 障害者が身近な地域でスポーツができる環境の整備、障害者スポーツセンターの改修、競技大会会場における観戦機会の提供等を通じた障害者スポーツの理解促進・普及啓発、パラリンピック等で活躍するアスリートの輩出に向けた競技力向上事業等、2020年とその先を見据え、障害者スポーツを社会に根付かせるため、様々な事業を実施